

インフルエンザ対策 空気清浄機 70台の購入予算を可決

幼稚園・保育園などに配備へ

12月定例会は、1日から10日まで開かれ、人事案件をはじめ条例改正1件、補正予算4件、物品購入契約締結2件などの議案が提出され、すべて原案どおり可決しました。また、一般質問では、14人の議員が町当局の考えをたずねました。

可決しました。

補正予算

一般会計

一般会計では、8834万3千円増の補正予算案が上程され、賛成多数で可決しました。

このほか、新型インフルエンザなどの予防対策として、幼稚園・保育園、子育て支援センター、学童保育所に配備する空気清浄機70台の購入費も盛り込んでいます。

- ◎国民健康保険事業 9997万5千円増
- ◎下水道事業 256万円増
- ◎介護保険事業 6128万4千円増

条例改正

非常勤の船員に地方公務員災害補償法を適用

雇用保険法や船員保険法の改正に伴い、「非常勤の船員の公務災害補償等に関する条例」改正案は、全会一致で可決しました。

特別会計

国民健康保険事業・下水道事業・介護保険事業特別会計の補正予算案も

契約締結

パソコン・デジタルテレビなど購入契約可決

合わせた計122台のデジタルテレビは、武田電気商会と2421万円で購入契約を締結しました。

人事案件

人権擁護委員候補者推薦「適任」と答申

平成22年3月31日に任期が満了する人権擁護委員について、再任の加田平靖子氏(西野添)を「適任」と議決しました。

決議

「町長に反省と法令遵守の事務執行を求める決議」を可決

10月臨時会で提案された工事請負契約の変更は、この時、既に追加工事の大半が未契約のまま進められていたことが判明。このため、議会運営委員会が決議を提案し、賛成多数で可決しました。



▲中央公民館で平成21年12月27日、3歳～小学3年生を対象に行われた新型インフルエンザワクチン集団接種

10月26日臨時会

下水道料金値上げ可決

10月の臨時会は、下水道料金の値上げと、播磨幼稚園耐震補強工事請負契約変更を原案どおり可決しました。

「播磨町下水道条例の一部を改正する条例」の制定は、下水道運営委員会の答申に基づき、使用料の値上げを可決。これを受けて、平成22年4月1日から施行されます。また、2カ月に一度の検針をすることから、経過措置として、平成22年4月5日検針分の使用料は従前のままとなります。

耐震補強工事請負契約の変更は、ひさし部分や鉄骨のさび、防水工事、金属工事、解体撤去工事、外構工事などの大幅な契約変更によるもの。当初契約金額に変更分708万1千円を加えた1億149万9千円を賛成多数で可決しました。

11月30日臨時会

補正予算の専決、職員の給与に関する条例改正を可決

補正予算の専決処分1件、条例改正1件の議案が提出され、原案どおり可決しました。他に播磨幼稚園の工事変更については、10月の臨時会の議決を得る前に工事を進めたとして、教育長が議会で謝罪をしました。

補正予算の専決は、新型インフルエンザの接種について、生活保護世帯や町民税非課税世帯の費用を免除するもの。平成21年11月から実施されています。播磨町職員の給与に関する条例では、12月支給の期末・勤勉

手当0.15カ月の引き下げや給料表などが改正され、平成21年12月1日から施行されました。播磨幼稚園の工事変更は、手続き上問題があったとして教育長が議会で謝罪しました。